

旧多久市消防本部の沿革

大正の末期から昭和にかけての消防組は昭和14年4月警防団によって腕用ポンプを主体にした5か町村の警防団が設立された。

昭和23年	5月	消防組織法の改正により消防団と改める。
昭和29年	5月	町村合併により、多久市消防団として5分団33部、1600人の団員と手引4台、小型3台をもって新しく発足した。
	8月	消防ポンプ自動車1台、手引動力ポンプ3台、小型動力ポンプ7台を購入。
昭和30年	8月	手引動力ポンプ3台、小型動力ポンプ6台を購入。
	10月	多久市消防団条例の一部改正により5分団33部、1343人の団員に改める。
昭和32年	12月	消防ポンプ自動車1台(消防団本部)、小型動力ポンプ1台を購入。 多久市消防団条例の一部改正により5分団32部、1343人の団員に改める。
昭和33年	8月	消防ポンプ自動車1台(北多久分団)、小型動力ポンプ1台を購入。
昭和34年	12月	消防ポンプ自動車1台(多久分団)、多久市消防団条例の一部改正により5分団31部、1343人の団員に改める。
昭和35年	12月	水槽付ポンプ自動車(2,400L)1台を購入。多久市消防団条例の一部を改正し、消防団常備部(定員46人)を発足し、同時に5分団18部、924人の団員に改める。
昭和37年	3月	消防ポンプ自動車1台(南多久分団本部)を購入。
昭和37年	12月	火災専用電話119番を設置する。
昭和38年	11月	消防団常備部を廃止し、消防本部を設置。消防職員12人を配置。同時に5分団18部、888人の団員に改める。
	12月	小型動力ポンプ1台(南多久分団)を購入。
昭和40年	1月	職員10人を増員し消防職員22人を配置。水槽付ポンプ自動車(2,500L)1台を購入。
	4月	多久市消防署を設置。消防長を選任し職員5人を増員、職員定数を27人とする。同時に5分団18部、750人の団員に改める。
昭和41年	1月	消防本部(署)庁舎完成。・鉄筋コンクリート2階建て 延べ面積410.67㎡・1階263.25㎡・2階147.42㎡
	3月	消防専用無線局1基、移動局1基購入。
	7月	多久市と隣接市町村(武雄市、大町町、北方町、江北町)との消防相互応援協定を締結。

	9月	多久市と隣接市町村(小城町、牛津町、巖木町、相知町、富士町)との消防相互応援協定を締結。
	10月	単車(125cc)購入
昭和42年	12月	消防署に消防専用移動無線局2基購入。
昭和43年	10月	消防ポンプ自動車1台(東多久分団本部)を購入。
昭和45年	3月	昭和44年度事業として救急車A級1台購入し、消防署に配置。消防署に消防専用移動無線局2基購入。
昭和45年	4月	救急業務を開始する。職員4人増員し、定数31人。3係を1係(救急)増設し4係とする。
	11月	小型動力ポンプ(B3級)1台を購入し、東多久分団1部に配置。手引動力ポンプ1台廃棄。
	12月	消防ポンプ自動車(A2級)1台を購入し、西多久分団本部に配置。旧西多久分団本部車を消防署に配置替えし、署3号とする。
昭和46年	9月	消防ポンプ自動車(A2級)1台を購入し、北多久分団本部に配置。旧北多久分団本部車を消防署に配置替えし、署5号とする。小型動力ポンプ(B3級)3台を購入し、東多久分団3部、南多久分団1部、多久分団1部に配置。手引動力ポンプ1台、小型動力ポンプ2台廃棄。
	12月	小型動力ポンプ(B3級)2台を購入し、東多久分団2部、北多久分団2部に配置。手引動力ポンプ1台、小型動力ポンプ1台廃棄。 有線放送電話廃止により緊急専用電話2回線(6基)設置。
昭和47年	9月	小型動力ポンプ(B3級)2台を購入し、東多久分団3部、南多久分団2部に配置。 消防ポンプ自動車(A2級)1台を購入し、多久分団本部に配置。同時に旧多久分団本部車を廃棄する。(県消防学校教材用として寄贈) 小型動力ポンプ(B3級)4台を購入し、西多久分団2部、多久分団2部、北多久分団1部と3部に配置。小型動力ポンプ4台廃棄。
昭和48年	4月	緊急指令装置完成。業務を開始する。(C型201、日本電気)
	7月	消防本部内事務分担の適正化を図るため、予防係を予防指導係、予防安全係に改める。 消防広報車(日消号)を日本消防協会から寄贈を受ける。同時に署5号車を廃止する。 多久市消防団条例の一部を改正し、5分団18部、420人の団員に改める。
	8月	消防職員3人を増員し、定数33人。
	11月	小型動力ポンプ(B2級)1台を購入し、署3号車に積載する。署の小型動力ポンプ1台廃棄。

昭和50年	11月	普通消防ポンプ自動車(A1級)1台を火災損害保険協会から寄贈を受け消防本部に配置、署3号を廃車。 普通消防ポンプ自動車(A2級)1台を購入し、南多久分団本部に配置。 救急車(2B級)1台を日本消防協会から寄贈を受け、救急車2台となり、予備車の確保をなす。
昭和53年	8月	三菱ふそうA2級Ⅱ型、森田式MK3型ポンプ装備の消防ポンプ自動車1台新規購入し、署2号車を廃車。
昭和54年	9月	救急車(2B級)1台を日本消防協会から寄贈を受け、救急車3台となる。
昭和55年	3月	救急車A級1台を廃車し、2台となる。
昭和56年	2月	日本消防協会から、団体特別表彰纏を受賞。
	10月	消防広報車を日本消防協会から寄贈を受け、広報車2台。
昭和57年	3月	県下一斉に救急医療情報システム運用開始。
	10月	単車を水道課に譲渡。
	11月	屈折梯子付自動車(16M)1台を新規購入し署に配置。 消防専用無線移動局2基購入。
昭和58年	11月	化学車1台新規購入し、署に配置。
昭和59年	1月	水槽付消防ポンプ自動車(旧1号車)廃車。
	10月	普通消防ポンプ自動車(BDT型A-2級)1台購入し、東多久分団本部へ配置。
	11月	旧東多久分団本部車、消防署に配置。
昭和60年	8月	小型動力ポンプ(B3級)3台を購入し、東多久分団1部、多久分団1部、南多久分団1部に配置。
	11月	防火広報車1台を日本消防協会から寄贈を受ける。
昭和61年	1月	消防出初め式を1月の第2日曜日に改める。 旧東多久分団本部車を廃車。
	7月	消防本部を旧佐賀女子高校多久校舎へ仮消防庁舎として移転。
	8月	小型動力ポンプ(B3級)2台を購入し、東多久分団3部、北多久分団2部に配置。
	9月	救急車(2B級)1台を日本消防協会から寄贈を受け、旧救急車1台廃車。
	10月	普通消防ポンプ自動車(BDT型A-2級)1台購入し、西多久分団本部へ配置。
	12月	無線移動局1基購入、救急2号車に積載。(旧型廃止)
昭和62年	3月	消防無線基地局県内波専用アンテナ取付。 九州横断高速自動車道供用開始。(高速道救急業務開始)
	4月	救急係を救急救助係に改める 消防職員2人を増員し、実員35人(定数36人)。 消防本部に消防団5分団の担当者(主査)を設ける。

	8月	小型動力ポンプ(B3級)3台を購入し、東多久分団2部、南多久分団2部、西多久分団1部に配置。
	11月	無線移動局1基購入、救急1号車に積載。(旧型廃止)
昭和63年	9月	無線移動局1基購入、化学消防ポンプ自動車(1号車)に積載。(旧型廃止)
	10月	普通消防ポンプ自動車(BDT型A-2級)1台購入し、多久分団本部へ配置。小型動力ポンプ(B3級)4台を購入し、多久分団2部、北多久分団1部、北多久分団3部、西多久分団2部に配置。
	12月	東多久分団1部格納庫を移転新築する。 北多久分団本部格納庫を移転新築する。
平成元年	3月	佐賀県消防協会から、優秀消防団として多久市消防団に対し表彰旗を受賞。
	4月	消防本部に次長2人制を取り入れる。(次長は係長を兼務する)
	6月	多久市消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を次のように改正する。第2条中「420人」を「415人」に改める。
	9月	旧北多久分団車の構造等変更。
平成元年	11月	救助運搬車に移動無線機10W1基取付、呼出し名称を「消防多久7」とする。
平成2年	1月	救急車(2B級・日産)1台を山之内製薬(株)から寄贈を受け、旧救急車1台廃車。
	7月	全分団本部車に無線受令機を取りつける。
	11月	普通消防ポンプ自動車(CD-1型A-2級)1台購入し、署3号車として配置。
平成3年	3月	消防超短波無線機5W購入。(携帯用2台)
	4月	救急車にNTT電話機搭載。(救急1, 2号車)
	8月	指令広報車1台を日本消防協会から寄贈。(三菱ランサー)9月旧指令広報車廃車。
	12月	消防超短波無線機5W購入。(携帯用2台)
平成4年	3月	佐賀県救急医療システムの更新。
	4月	職員定数を40人に改正。(実員数36人)
平成5年	2月	消防庁舎起工式
	3月	消防超短波無線機5W購入。(携帯用1台)
平成6年	3月	消防庁舎竣工。・消防庁舎 鉄筋コンクリート2階建て1,006.3㎡・車庫 鉄骨造450.9㎡・訓練塔 鉄筋コンクリート174㎡・B訓練塔 鉄筋コンクリート80㎡・機械棟 鉄筋コンクリート62.5㎡

	12月	軽4輪駆動積載自動車を3台購入し、東多久分団3部、西多久分団2部に配置。
平成7年	3月	多久分団1部格納庫を新築。 救助工作車を購入。(普通ポンプ自動車1台廃棄)
	4月	軽4輪駆動積載自動車を5台購入し、東多久分団1部、西多久分団1部、多久分団1部、北多久分団1部、南多久分団2部に配置。
平成8年	4月	救急救命士1人養成。
	4月	消防本部に課制を敷く。総務課、警防課、予防課の3課。 救急救命士1人養成。
	12月	軽4輪駆動積載自動車を4台購入し、東多久分団2部、北多久分団2部、多久分団2部、南多久分団1部に配置。
平成9年	3月	多久分団2部格納庫を新築。 西多久分団3部格納庫を新築。
	4月	救急救命士1人養成。
平成10年	4月	救急救命士1人養成。(4人になる)
平成11年	3月	高規格救急車寄贈
平成12年	12月	東多久分団3部格納庫を新築。